

ヴェルサイユ 今昔物語

～ヴィオラが最後の輝きを放った時代～

2007年10月30日(火)

14:00開演(13:30開場)

旧古河庭園・洋館

全席自由 3,500円(入園料込/コーヒー・菓子付)

ヴィオラとクラヴサンで
織りなす優美な世界

品川 聖 (ヴィオラ)

福間 彩 (クラヴサン)

関根敏子 (お話)



PROFILE



品川 聖 Hijiiri Shinagawa

3歳よりヴァイオリンを始める。1999年桐朋学園大学音楽学部古楽器科卒業後、ベルギーのブリュッセル王立音楽院に留学。2003年ディプロマを取得し首席で卒業。ヴィオラ・ダ・ガンバを中野哲也、ヴィーラント・クイケン、若松夏美、寺神戸亮、シグスヴァルト・クイケン、各氏に師事。2001年ソロデビュー以来、各地でコンサート活動を展開。2005年よりロバハウスにて「ヴィオラの魅力」シリーズを開始。今秋、初CD「ソロ」をリリース。東京古典楽器センター講師。



福間 彩 Aya Fukuma

桐朋学園大学音楽学部古楽器科卒業。同大学研究科修了。アムステルダム音楽院卒業。パリ国立高等音楽院にて室内楽を専攻する。チェンバロを故鍋島元子、渡邊順生、ボブ・ファン・アスベレンの各氏に師事。また、グスタフ・レオンハルト、ビエール・アンタイ両氏のマスタークラスを受講。2005年、第19回古楽コンクール(山梨)チェンバロ部門最高位受賞、併せて栃木「蔵の街」音楽祭賞を受賞し、記念リサイタルを開く。ソリストおよび通奏低音奏者として、国内外で活動している。



関根敏子 Toshiko Sekine

桐朋学園大学音楽学部作曲理論学科(音楽学)卒業後、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に学ぶ。昭和音楽大学、東洋大学の各講師、音楽文献目録委員会事務局長。新聞や雑誌等の執筆、NHK-FMへの出演、東西の古楽器や古楽演奏に関するレクチャーでも活躍。『古楽演奏の現在』(監修)ほか著・訳書多数。

PROGRAM

A. フォルクレ (1671/2-1745)

「ヴィオラ曲集」(1747年)より、組曲第3番 二長調

J.-P. ラモー (1683-1764)

「クラヴサン曲集」(1724年)より、つむじ風、ため息

M. マレ (1656-1728)

「ヴィオラ曲集第4巻」(1717年)より、組曲 二長調

M. マレ (1656-1728)

「ヴィオラ曲集第2巻」(1701年)より、スペインのフォリア

F. ケーブラン (1668-1733)

「ヴィオラ曲集」(1728年)より、組曲第1番 小短調



●お問合せ・チケット取扱い
発売日: 8月6日(月)

アントレ編集部
Tel: 042-378-7603

北区内取扱店
北とびあ1階チケット売場
(窓口のみ/10:00~19:00)